

## 郡上農林事務所の普及活動状況

令和元年 9 月 25 日現在

### 今月の重点活動

#### ■ 労働力確保 **新農業人フェアにて出展支援**

たかす園芸生産協議会は9月8日、東京での新農業人フェアに出展し、農業法人等での雇用就農希望者の募集活動を行った。

設置ブースでは、協議会メンバーが郡上地域のPRや受け入れ体制、雇用条件などを説明し、フェアに同行した農業普及課も、積極的に助言や呼び込みの支援を行った。

この日、協議会ブースに来てくれたのは11名。希望する品目や条件等は様々だったが、どの人も興味を持って、メモを取りつつ熱心に耳を傾けていた。

たかす園芸生産協議会では、今後も各種イベントに出展し、生産者の労働力確保に向けて活動を続けていく予定としており、農業普及課も引き続き支援を行っていく。



【説明を聞く参加者】

### 売れるブランドづくり

#### ■ 水稲 **「郡上のお米」の良食味、高品質生産を目指して**

郡上市では、良食味米の産地として、さらなる知名度を向上させるため、食味向上の実証ほを設置しており、収量、食味等詳細な調査を行うため、坪刈り等を開始した。

農業普及課では、地域の中核的農業者の協力のもと、肥培管理や収穫時期の違いによる実証を行っており、生育期間中の調査を行ってきた。

今後は、食味向上効果の確認、収量性、品質面での各種調査を行い、地域に根差した栽培技術の確立に努めていく。



【収穫前のほ場確認】

#### ■ 夏秋トマト **部会役員・技術研究部会による圃場巡回を開催**

郡上園芸特産振興会夏秋トマト部会と技術研究部会は、9月18日に管内のトマト圃場や郡上トマトの学校を巡回し、試作品種の状況確認や研修生との意見交換を行った。

試作品種では、桃太郎ワンダー、麗月の作柄を確認し、障害果の発生状況や収穫調整、草勢の特徴などについて意見交換を行った。近年の極端な気象条件のなかでも安定した収量、品質の確保が求められているなか、今後は市場や選果場での意見も考慮しながら次年度の品種構成に向けて調整を進める。

トマトの学校では、JA担当者より、かん水方法の工夫や薬剤防除により病気がほとんど発生していない圃場の管理について説明を聞くことができた。

農業普及課では試作品種の普及に向けた調整やトマトの学校の成果を部会内に広げていくために支援を継続していく。



【ほ場内で意見交換】